

壁ツール

「壁ツール」は、図面上に壁を入力する時に使用します。設定画面内で壁の厚みや傾きを設定できるため、擁壁のような台形の壁も入力することができます。

図面上に線を入力する（設定）

ツールボックスの「壁ツール」をダブルクリックして、壁の設定画面を開きます。

[壁の設定画面]



[壁の設定画面]

- ①レイヤ設定
- ②材料の設定(上面・側面・底面)
- ③[全てのクロップを元に戻す]: 塀カットした壁をカットする前の状態に戻します。
- ④壁高さ・設置高さの設定
- ⑤基準線の設定
- ⑥壁の厚み
- ⑦壁の形状(立体)の設定
- ⑧表示設定
- ⑨要素 ID, リンパレーションステータス
- ⑩[OK][キャンセル]ボタン

図面上に壁を入力する

- 1) 壁の設定画面開き、設定を行い、[OK]ボタンで設定画面を閉じます。
- 2) 画面上部の情報ボックスから図形作成法を選択します。図面上に壁を描きます。

設定の変更（情報ボックスの利用）

これから壁ツールで入力する時や、すでに図面に入力した壁を選択した時に、画面上部にその壁に関する情報が表示されます。

表示される情報は、壁の設定画面で設定した内容と同じですので、こちらからすばやく修正・変更することもできます。

RIKCAD10



- ①壁の設定画面を開く
- ②壁の作図方法(図形作成法)
- ③基準線のタイプ
- ④材料の設定
- ⑤壁天端の高さ/取り付け位置高さ
- ⑥レイヤの設定
- ⑦壁の厚み

壁を削除する

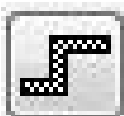
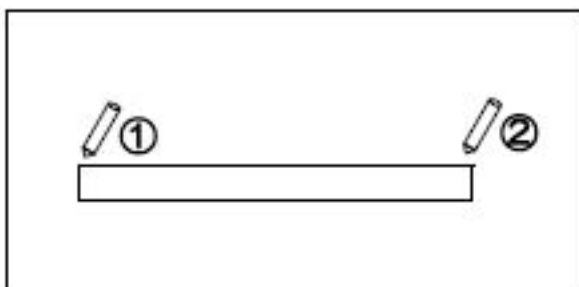
図面上の入力した壁を削除するには、ツールボックスの「矢印」ツールに切り替え、図面上から削除する壁を選択し、右クリック
[×削除]をクリックするか、キーボードの[Delete]キーで削除します。

壁の作図方法(図形作成法の設定) (直線壁の入力)



単一(直線壁)

単一の直線の壁を描きます。始点と終点でクリックします。

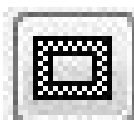
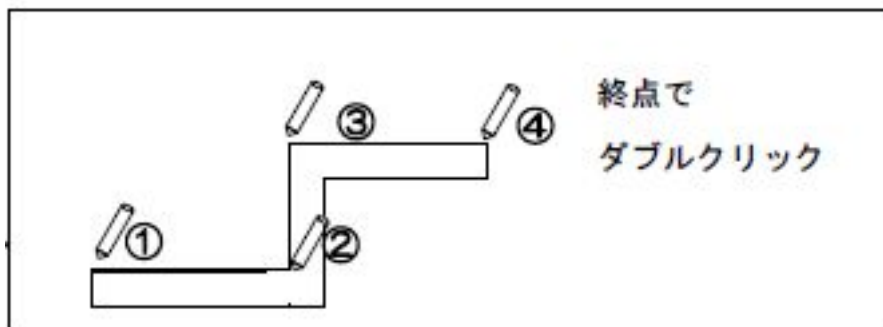


連続(連続壁)

直線壁を連続して描くことができます。
始点をクリックし、次のポイントでクリックすると、方向へ変えて入力し続けることができます。

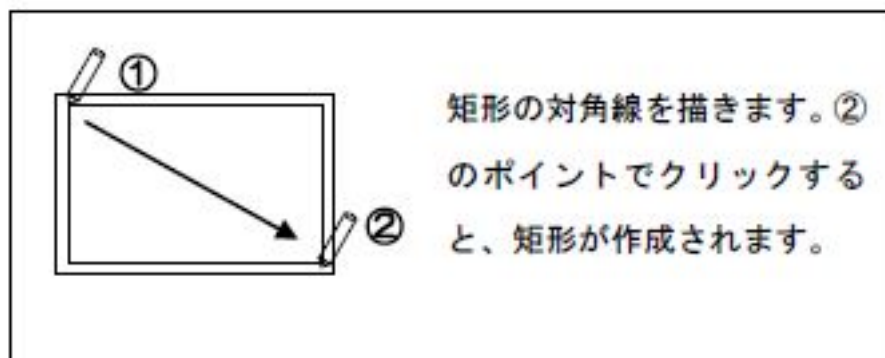
RIKCAD10

終点でダブルクリックすると、連続した壁が作成されます。



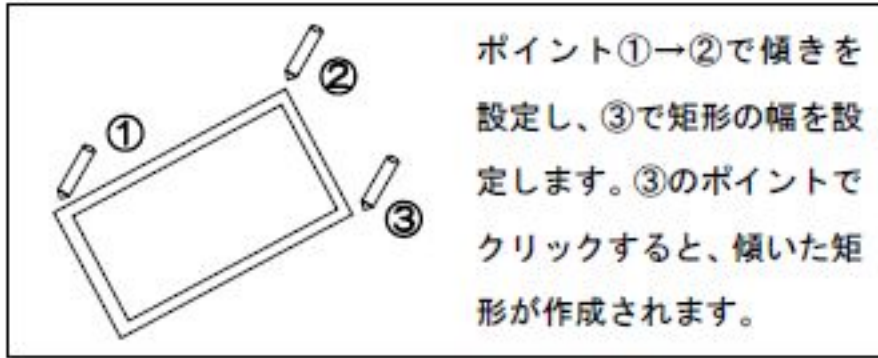
矩形(四角形)

単純な矩形（四角形）を作成します。
始点でクリックし、対角線上でクリックすることで、四角形の壁を入力します。

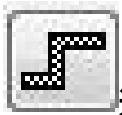


回転矩形(傾きのある四角形)

角度のついた矩形（四角形）を作成します。始点でクリックし、次のクリックで傾きを設定。続けて矩形の幅まで移動し、最後クリックで回転矩形を入力します。



壁の作図方法(図形作成法の設定) (円弧壁の入力)



連続(連続した線)

図形作成法が[連続]である場合、作図中にパレットが表示され、入力中に直線・曲線を切り替えて入力することができます。
ダブルクリックすると線の入力を終了し、図面に線が入力されます。これを利用すると、円弧状の壁を入力することができます。

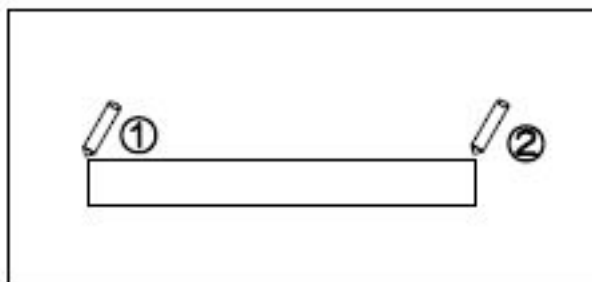
[連続線の作図中に表示されるパレット]



パレットの赤枠部分が、主に円弧壁を入力する機能となります。それぞれの入力方法が異なります。
入力しやすい方法を利用してください。

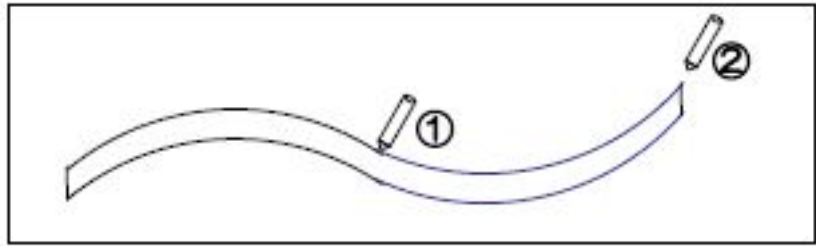


直線の辺





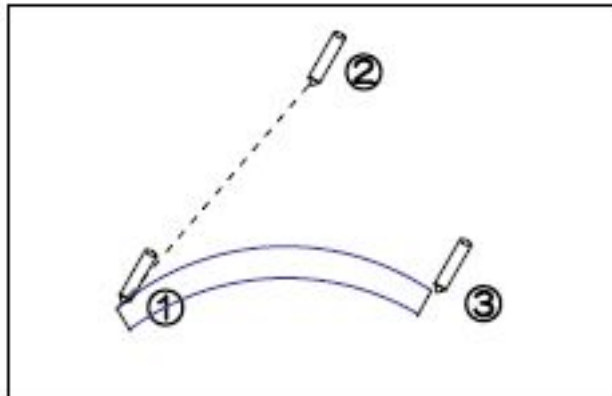
前の辺に正接する円弧



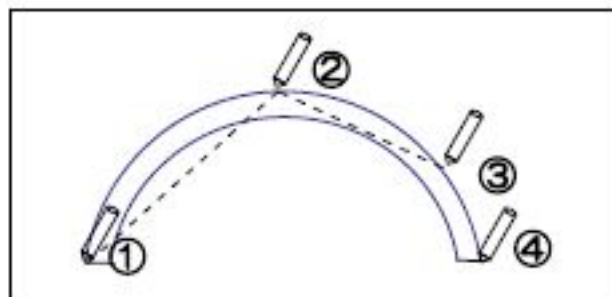
直前に入力した線を接線として 円弧線を連続して作図します。



正接で定義される円弧

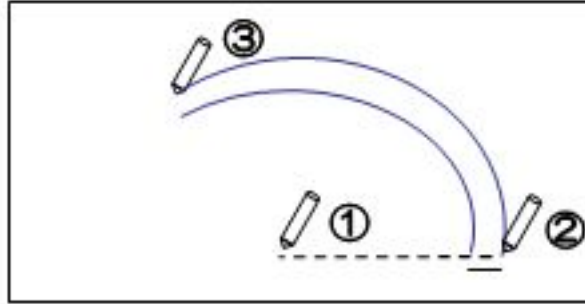


3点で定義される円弧





中心点で定義される円弧



一意的なソリューション ID: #1033

製作者: 亀田

最終更新: 2019-04-18 16:00